



東・西中2年生 合同の職場体験学習

11月15・16日(木・金)に、高鍋東・西中学校2年生が合同で職場体験学習を行いました。町商工会やキャリア教育支援センター、地域コーディネーターなどのご支援を得て、昨年より合同で実施しています。

この体験学習は働くことの意義を理解し、自己の職業や勤労に対する認識を深めながら、今後の進路選択や生活に生かしていくものです。生徒は、各事業所との事前連絡や実際の仕事の経験などを通して、働くことの楽しさや厳しさ、人と人のコミュニケーションの大切さなどを学ぶことができました。また、ふるさと高鍋の町や自然、人のすばらしさ、感謝や奉仕、努力の大切さなどについても知る事ができた大変貴重な機会となりました。

さらに昨年度から、同じ高鍋町内の東・西中学校の2年生同士が交流を深めるとともに、多くの町民の方々からも働く中学生を応援していただくなど、とても有意義な2日間の体験学習となりました。今年もお忙しい中に、地元高鍋町の中学生のために貴重な体験の機会を提供していただきました町内78か所の各事業所の皆様に心より感謝いたします。



東中駅伝・ロードレース大会

11月30日(金)に小丸河畔運動公園で、快晴の天気の下に駅伝ロードレース大会を開催しました。前半は各学級の男女代表(6人)が互いにたすきをつなぐ駅伝(男子2,2km、女子1,8km)を、後半は1~3年生で競う男女別のロードレース(男子2,2km、女子1,8km)を行いました。どちらの競技でも、体育の授業で鍛えた成果を出しながら、全員が必死に自分の体力に挑戦するとともに、学年やクラスの仲間を懸命に応援する中学生らしいさわやかな感動の姿がたくさん見られました。



競技後には毎年恒例となっている、保護者の方々が現地で作っていただいた、高鍋産の野菜・肉たっぷりの豚汁を、全員でとてもおいしくいただきました。朝早くから準備をしていただいた給食委員会(野間口愛子 委員長)や学校支援委員会(甲斐重企 委員長)、執行部の皆様、また応援に駆けつけていただいた多くの保護者の皆様に心から感謝いたします。生徒の心に残る大変すばらしい行事となりました。

- 駅 伝** 1位：3年3組(小椋愛莉・佐藤真任・長友瑞穂・城充樹・吉田聖奈・新藤将太)
2位：1年1組(平野和々美・平塚永愛・児玉光・竹中陽冬・中村幸愛・矢野慎之介)
3位：1年3組(梁井葉奈・岩崎龍太郎・大平さくら・金崎琢・是澤美沙希・加藤悠太)
- ロードレース** 男子1位：岩切俊樹(3年) 2位：林田雄喜(3年) 3位：林龍哉(3年) 4位：菊池慶祐(3年)
5位：西吉葉汰(3年) 6位：中村綺莉斗(3年) 7位：守部光(3年) 8位：樋口寿幸(3年)
女子1位：佐佐木埜乃(2年) 2位：藤原心花(2年) 3位：黒木李桜(2年) 4位：猪野せせらぎ(3年)
5位：泥谷桜(2年) 6位：小椋柚葉(2年) 7位：川崎海晴(2年) 8位：吉田彩乃(3年)

3年生 福祉体験学習を行う

3年生は11月16日(金)に、町社会福祉協議会とヒューマンサービスの方々に東中に来ていただき、福祉体験を行いました。

車いす体験では、様々な種類の車いすに乗ったり、介護者側になって介助の仕方について学んだりしました。高齢者疑似体験では、装具(ヘッドホンや眼鏡、手足の重りなど)を装着して歩行や階段の上り下り、折り紙などを行い、高齢者の気持ちや介護方法を体験的に学ぶことができました。

原田幸汰君は「高齢者があんなにきつそうに歩いているとは思わなかった。目や耳が不自由なのは怖かったし、腰がとても痛かった。これからは高齢者に優しく接していきたい。」と話していました。

福祉教育のめざすものは、年少者も高齢者も、障害のある人もない人も、すべての人々がこの社会の中で誇りをもって心豊かで幸せな生活を送ることができるようにすることです。将来地域社会の一員となる生徒たちにとっても大切なことを学ばせていただきました。このような福祉に興味関心をもつ貴重な機会を提供していただいた方々に心から感謝いたします。

